

支部だより

福岡支部の活動



福岡支部支部長 吉田 秀 俊
(昭和38年卒)

七年卒)を選出し、誕生いたしました。以来、二代 上野寛氏(S二十九年卒)、三代 敷地隆光氏(S三十一年卒)と福岡市の著名な方々が歴代会長をお務めになり、会(支部)の隆盛にご尽力なされました。平成十五年の総会で、会員諸氏の推挙を無にもできず、四代会長をお受けいたしました。歴代会長に比してあまりにも浅学非才で、多くの不安を抱えつつ、今日まできました。支えていただいた役員並びに会員諸氏には心より感謝していただきます。

昨秋の母校県営移管八十周年(定時制本校移管五十周年)記念式典に、本支部関係者を多数お招きいただき、母校発展の目を当たりに見る事ができました。学校当局に感謝いたします。

私どもが在校時は、グラウンド狭隘につき、野球部は練習もままならず練習場を探して転々とする状況でした。広大なグラウンド、白亜のモダン校舎、後輩達が羨ましくさえあります。後輩達には、この恵まれた環境、施設を活かして、大きな成果を出していただきたいと心より願っています。

さて、福岡支部は、平成元年十一月十二日(日)に福岡市中央区天神の「平和楼」において発足総会を開催、初代会長(支部長)に小屋盛良氏(S二十

同窓会館落成には建立碑、母校八十周年にはコントラバスとパソコン等々寄贈しました。支部財政が豊かなわけはありません。母校の発展と後輩の活躍を期待して、さゝやかであつても可能な限り、母校へ貢献をしていこうというのが、歴代会長及び高田幹事長によって導かれた支部会員の活動理念であります。

私ども後継の者もその理念を引き継いで、今後の活動を推進して参りたいと思っております。

福岡支部総会は、本部総会の谷間(年、西暦奇数年)の十一月第二日曜日を定例開催日として、二年毎に開催してきます。今回で第十回を迎え、支部結成二十年の節目にも当たります。場所も交通至便な福岡市の中心である天神地区に毎回設定しています。アトラクションも例年、創作炭坑節、川渡り神幸祭の鐘・太鼓の囃子、抽選会等楽しんでいただいています。今回も楽しい企画を立案中です。遠路の方々も一堂に会して、故郷「田川」と母校を想い、青春に回帰するひとときをご一緒に過ごしましょう。ご参加をお待ちいたします。

